


2017
学生の
選んだ
「いい授業」

Tokai Univ. Teaching Award
Prize Winners List 2017

- 授業内容は教職員ポータルまたはキャンパスライフエンジンから「シラバス検索」で確認できます。
- 教職員が授業を見学する場合は「授業時間割表」で教室を確認し、授業開始前に担当教員に申し出て見学してください。
- 所属等は2017年4月現在です。

 東海大学教育支援センター

発行●東海大学教育支援センター 編集●教育支援センター教育支援課 発行日●2017年6月16日
TEL●0463-58-1211(内線2087) E-mail : shien@tsc.u-tokai.ac.jp

教育支援センターのホームページ
<http://www.esc.u-tokai.ac.jp/>

東海大学教育支援センター

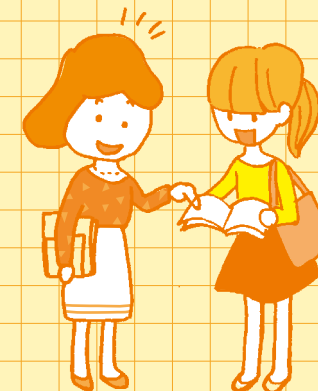


Communication!!
先生×学生



2017
授業
アンケートから
学生の
選んだ
「いい授業」

Tokai Univ. Teaching Award
Prize Winners List 2017



 TOKAI UNIVERSITY
EDUCATIONAL SUPPORT CENTER

◆ 一緒につくろう! 『いい授業』 ◆

みなさんのアンケートが大切です

今回も学生の皆さんが選んだ「いい授業」を担当している先生方を表彰させていただきましたのでお知らせします。

昨年度実施した「授業のあり方に関するアンケート調査」および公開シンポジウムから、「知的好奇心が持てる」授業は皆さんにとっても先生方にとっても「いい授業」であることがわかりました。

先生方がいろいろと工夫し、「知的好奇心が持てる」より良い授業を展開できるようになるためには、皆さんに答えていただく「授業についてのアンケート」が大切な役割を担っています。より良い学習環境の実現には互いの信頼が重要です。

これからもアンケートへの回答をよろしくお願いいたします。皆さんと一緒により良い大学を創っていきましょう!

東海大学学長 山田 清志

「4つの力」でいい授業をつくろう

やあ!僕はリッキー!東海大学の「4つの力」イメージキャラクターだよ!

2009年に東海大学が社会的な実践力を養うための具体的な教育目標(育成する力)としてこの「4つの力」を策定したんだ。

「4つの力」とは、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」の4つ。

● 自ら考える力

常に未来を見据え自らが取り組むべき課題を探求する力

● 集い力

多様な人々の力を結集する力

● 挑み力

困難かつ大きな課題に勇気をもって挑戦する力

● 成し遂げ力

失敗や挫折を乗り越えて目標を実現していく力

僕と一緒に「いい授業」をつくりましょう!!

東海大学の「4つの力」
イメージキャラクター リッキー



◆ 優秀賞受賞者(2016年度選出) ◆

文学部ヨーロッパ文明学科	河島 思朗先生
教養学部国際学科	小山 晶子先生
理学部数学科	小川 竜先生
課程資格教育センター教育学研究室	稲垣 智則先生
国際教育センター英語教育部門	マドレー ジョン先生

選考方法

東海大学では「授業力向上」のために、1993年度から学生による授業アンケートを行っています。1年間に開講された講義科目の授業を対象として、授業についてのアンケートの「総合評価平均評価点」、「科目履修人数」、「アンケート実施率等」を考慮した候補者リストの中から、学部等により候補者を推薦していただき、最終的に大学運営本部が中心となって厳正なる審査を行いました。

また、授業のポイントである3要素、「分かりやすい」、「聞き取りやすい」、「関心が持てる」は、選定の重要な項目です。

受賞者ページ(p4~8)中では、右のアイコンを設け、受賞教員が心がけているポイントを記載してありますので参考にしてください。



「授業についてのアンケート」





文学部ヨーロッパ文明学科

河島 思朗先生

Kawashima Shiro



【学 位】 修士(文学)
【専門分野】 西洋古典学
ラテン文学
ギリシア・ローマ神話研究
【主要授業担当科目】
ギリシア・ローマの伝統A/
ギリシア・ローマの神話/
地中海地域研究B

多様な観点からのまなざし

授業では、他者の視点から考えることを学び、多角的な観点から考察できる力を身につけてほしいと思っています。私の専門は古代ギリシア・ローマです。研究の対象は私たちとは地理的にも、時間的にも離れています。しかし古代の人々も、私たちと同じように楽しみ、悩みながら日々の生活をおくっていました。いわばまったく異なる文化をもつ「他者」ですが、共通点も多いのです。古代の文明は離れているからこそ、別の視点から現在の私たちについて顧みる新しい視座を与えてくれます。単に古代の知識を獲得するだけでなく、身近な出来事に引きつけて考えることで、その意味を理解することができます。授業を通して新たな考え方に会える体験ができるように心がけています。



河島先生の『授業をよくするための』テクニック

わかりやすく 毎回、授業をうけて考えたことと質問をコメントペーパーに書いてもらいます。授業をふりかえって自分で整理し、そこから出た疑問を文章にします。次の授業ではその疑問を足がかりに、授業をすすめています。

関心を持てる 「いま古代を学ぶことの意味」を意識するようにしています。そのために、授業でとりあげた事柄を、身近な例に置きかえたり、現在の結びつきのなかでとらえなおします。人文学が考えるべき問いはいつの時代にもあてはまります。

聞き取りやすく とくに意識して聞いてほしいところを強調できるように、話すスピードや抑揚には気をつけています。また、文章が長くなりすぎると、ポイントが分からなくなるので、簡潔な言いまわしを心がけています。

「いい授業」のために私はコレを活用

パワーポイントやレジュメを利用して内容を整理

情報として把握してほしい事柄はあらかじめレジュメなどに記載し、聴いて、考えて、書いてほしい事柄に集中できるように資料作りに努めています。

学生VOICE!!



河村 優希さん
文学部ヨーロッパ文明学科3年生

授業を通して、古代ギリシア・ローマの人々の生活を身近に感じることができました。また、作品に触れることで、現代のヨーロッパについて考え直すきっかけにもなりました。さらに授業では文学作品だけでなく、絵画などの芸術作品も鑑賞。様々な分野に関心がもてました。

河島先生の2017年度の授業

授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

Table with 5 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎, 春学期

秋学期

Table with 5 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎, 秋学期



教養学部国際学科

小山 晶子先生

Oyama Seiko



授業で学べる知識以上のことを認識する!

私が担当する授業は、教科ごとに教育アプローチを少し変えるようにしています。複数の授業を履修している学生のマンネリ化を回避すると同時に、私自身が各教科を楽しむためでもあります。その一方で、どの教科においても必ず伝えていることは、授業で習得できることは教科についての知識だけではない、ということです。大学院へ進学しなくても、社会科学的な考え方と論じ方を身につけることが、社会人として有効であることを、学生に納得してもらえるように説明しています。たとえば、情報収集のアイデア、情報に対する批判的な読み取り方、問いの投げかけ方、問いに対する論点の示し方などがあげられます。そして、これらのスキルを身につけるために、グループ・ワークや課題を通して実践してもらっています。



【学 位】 博士(政治学)
【専門分野】 政治社会学
ヨーロッパ研究
移民と教育
【主要授業担当科目】
国際政治学/国際学序論/
移民・難民/ヨーロッパ研究/
International Relations

小山先生の『授業をよくするための』テクニック

わかりやすく 難しく感じられる用語、知識、考え方については、学生が理解しやすい具体的な事例を用いて説明するようにしています。学生に対しても、授業で出す課題について必ず具体的な事例を用いて説明するように指導しています。

関心を持てる 国際社会で生じていることは、雲の上の出来事ではなく、学生をはじめとする個人にも必ず何らかのかたちで影響しており、また個人も国際的なレベルの課題を解決することに関与できる主体である、と考えることができる内容を盛り込むようにしています。

聞き取りやすく 「聞き取ったことが理解できているか」を把握するように努めています。教壇で伝えたことを教室を歩きながら説明し、学生に質問をして理解度を確かめます。全員の前で質問しづらい学生には、グループワークの際に質問できる機会を、授業後にも個人的に質問できる時間を設けています。

「いい授業」のために私はコレを活用

学生から教わる多様な視点を共有する

学生からの興味深い回答の紹介や、グループ発表を通して多様な視点を共有し、問題の解決には、一つの正解があるわけではなく、様々な視角をもって取り組む必要性について一緒に考えるようにしています。

学生VOICE!!



辻 幸佑さん
教養学部国際学科4年生

学生が意欲的に理解したくなるような雰囲気を作ってくれる小山先生。国際学は難しい単語を取り扱うこともありますが、学生のレベルに合わせて説明をしてくれるので、「理解したい!」という気持ちに自然となります。また、時事問題を組み合わせられるのも理解度が高い理由の1つです。

小山先生の2017年度の授業

授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

Table with 5 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎, 春学期

秋学期

Table with 5 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎, 秋学期



理学部数学科

小川 竜先生

Ogawa Noboru



【学 位】 博士(理学)
【専門分野】 微分幾何学
【主要授業担当科目】 幾何学演習A / 組み合わせ幾何学1 / 数学研究 / 幾何学序論

「分かった!」という実感のある授業を目指して

講義では学生と対話をしながら進めることを心がけています。質問をするときの決まり文句は「なぜ?本当にそうなの?」です。これまで当たり前と思ってきたことを突然尋ねられると、ドキッ(汗)とした表情をして意識がこちらに集中するのが分かります。講義を通して「なるほど、そういうことだったのか!」と感じてもらえるように日々試行錯誤しています。一方で、数学が出来るようになるためには反復練習が欠かせません。そこで沢山の課題を用意します。簡単なものからじっくり時間をかけて考えるものまで、難易度を調整しながら達成感を得られるように工夫しています。「分かった!」という声を聞くときが最も嬉しく感じる瞬間です。



小川先生の『授業をよくするため』のテクニック

講義の始めに前回の復習と今回のテーマについて述べます。どこがポイントなのかを学生にきちんと伝えることが重要です。また一回の講義の中でも「起承転結」を意識して話すようにしています。

数学は抽象的な概念が多く、我々の生活とは関係ないと思われがちですが、実際には身の回りの様々なところで密接に関わっています。数学が我々どどのように結びついているか紹介することで、少しでも興味を抱いてくれたらと思っています。

声を大きくはつきりと、抑揚をつけて話します。学生の顔を見て話し、表情を見ながらスピードをコントロールします。また、大事なポイントは繰り返します。

「いい授業」のために私はコレを活用

身の回りにある全てのものが教材

大学で学ぶ数学は高度で抽象的な概念が多くなります。模型などを「見せながら・触らせながら」説明することで、難しい概念も理解し易くなります。工夫すれば身の回りにある全てのものが教材として使えます。この前は学生のメガネを借りてある概念の説明をしました(笑)。

学生VOICE!!



上田 未来さん
理学部数学科4年生

小川先生の講義では、定理を説明した後に関係した具体例を取り上げ、図などを用いて説明して下さるので理解が進みます。学生の反応を見ながら授業の進め方を変えたり、授業内や授業後の質問に対して真摯に応えて下さる学生想いの先生です。

小川先生の2017年度の授業

授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

Table with 4 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎. Rows include 幾何学演習A, 組み合わせ幾何学1, 数学研究1.

Table with 4 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎. Rows include 幾何学序論, 組み合わせ幾何学2, 数学研究2.



課程資格教育センター教育学研究室

稲垣 智則先生

Inagaki Tomonori



【学 位】 修士(心理学)
【専門分野】 臨床心理学
教育相談
教育心理学
【主要授業担当科目】 教育相談 / 教育心理学 / 学習指導論 / 教育実習事前指導

現場が目の前に浮かぶように

「私が学生だったとしたら聞きたい」と思える授業を行うようにしております。できる限り物事の「因と地」を反転させ(たとえば「邪悪な行動は平凡さゆえに引き起こされる」といったような)、日常が今までとは異なるように見えるようなものの見方が伝えられれば、と願って授業を行っております。あらかじめ私が準備している内容以外に、なるべく身近なものを深く考えて欲しいため、毎回アクションペーパーに授業を聞いて「感じたこと・考えたこと・質問」などを記してもらい、中から選んで次回の授業で使います。



稲垣先生の『授業をよくするため』のテクニック

音声で聞いた際に、脳内で漢字に変換しやすい用語を用いるように気をつけています(あるいは複数の用語で言い換えます)。また、先に「話の着地点」を示した上で話しはじめるよう心がけています。

教育に関連することが主ですが、なるべく学生にとって日常的に遭遇する出来事(友人関係、サークル・部活動など)を題材として、そこから広げる授業を心がけています。

参考にしてるのはラジオパーソナリティや落語家の語り口です。「えー」「まあ」「あのー」などを極力排除し、「歌詞が聞き取れる歌い方」のような発音を心がけています。

「いい授業」のために私はコレを活用

あえてプロジェクターを避け、一人複数役の声色で実演

教室を暗くすると眠気を誘うため、なるべくプロジェクターは避け、ポイントを絞った板書、より生きた「映像」として定着することを目的とした「一人複数役の声色をかえて実演する」手法を取り入れています。

学生VOICE!!



竹内 健太さん
理学部情報数理工学3年生

授業の構成をはじめ、板書や説明の仕方など、細かい部分まで工夫がされています。カウンセラーとして小中学校で生徒と接していた経験も反映されているので、実例を用いた話は、「教員として働くときに必要なスキル」や「大学在学中に何を学ぶべきか」など、考えさせられることが多かったです。

稲垣先生の2017年度の授業

授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

Table with 4 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎. Rows include 教育心理学, 教育相談.

Table with 4 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎. Rows include 教育相談, 教育心理学, 学習指導論.



国際教育センター英語教育部門

マドレー ジョン先生

J.P. Mudryj



【学 位】 M.A.
 【専門分野】 Applied Linguistics
 【主要授業担当科目】
 TOEFL®入門/
 英語リーディング&ライティング2/
 英語会話初級/
 英語リーディング&ライティング1/
 英語リスニング&スピーキング2

Encouraging Participation

私の授業では本物のコミュニケーションを主眼としています。真の学びとは、教科書を閉じた後にやってきます。学生達は個々の感情や考えを表現するために、彼らの英語能力を駆使することになります。これが、学問としてではなく、実用的かつ人生を豊かにする英語との出会いとなるでしょう。もちろん授業は楽しい方がいいですが、もっ

と重要なことは学生が自信を失わない雰囲気を作ることです。学生は間違っても気にせず、恐れずに自分の言語力の限界を超えてほしいです。これによって、学生を成長させ、自信を持たせることができます。



ジョン先生の『授業をよくするための』テクニック

わかりやすく
 みんなで一緒に前に進むために、学生にはノートをとらせています。ノートをとることが、知識の定着を促進する研究結果があります。学生が授業のポイントや例文を書き取ったものを確認することで、遅れをとっている学生がいなくどうかどうかが瞬時に確認することができます。

関心を持たせる
 授業に関心を持たせるために、最も効果的な方法の1つは、授業の構成をじっくりと考えることです。学生のペアワークやグループワークは頻りに換えて行ないます。これによって、勉強ができる学生はわからない学生を手助けすることの喜びを、またわからない学生は相手から刺激を受けることができます。

聞き取りやすく
 大きな声ではっきりと話すことに加え、新しい語彙や表現を紹介する時はいつでも、私は意味が明確に伝わるよう、ボディランゲージや顔の表情で示すようにしています。この方法の他のメリットとしては、学生の注意をひき、新しい概念を記憶しやすくするでしょう。

「いい授業」のために私はコレを活用

教室内を動き回り、キーとなる事項を繰り返す

学生に主体性を持たせた授業を円滑に進めるために、私はペアやグループの間を動き回り、どのように進めたらよいかわからない学生に、キーとなる事項を繰り返し伝えていきます。またこのことは、学生が抱えている問題を見つけるとともに、クラス全体の前でなくとも、質問しやいようにしています。

学生VOICE!!



大浦 朱生さん
 体育学部体育学科2年生

毎回、IQを問うような面白い問題を出してくれ、その面白さと親しみやすさから、自然と英語を理解しようとする自分に変わっていったように思います。対話式の授業で沢山コンタクトを取ってくれるので、聞き取る力と共に発信する力も身に付いたと思います。

ジョン先生の2017年度の授業

▶ 授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

科目名	必選	単位	開講校舎
TOEFL®入門	選	1	湘南
英語リーディング&ライティング2	必	2	湘南
英語会話初級	選	2	湘南

科目名	必選	単位	開講校舎
英語リーディング&ライティング1	必	2	湘南
TOEFL®入門	選	1	湘南
英語リスニング&スピーキング2	必	2	湘南

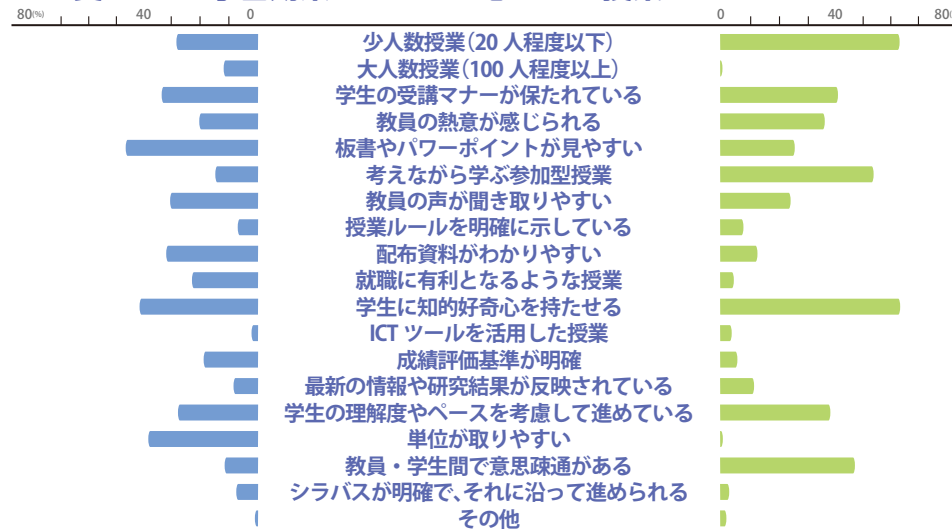
いい授業

学生

アンケート結果2016

教員

受たい/学習効果が上がると思われる授業ってどんなもの?



学生が思うベスト3

- 1 板書やパワーポイントが見やすい
- 2 学生に知的好奇心を持たせる
- 3 単位が取りやすい

POINT

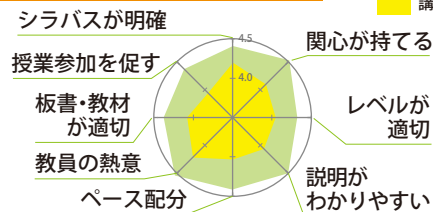
「知的好奇心を持たせる」は、いずれでも上位に!

先生が考えるベスト3

- 1 学生に知的好奇心を持たせる
- 2 少人数授業(20人程度以下)
- 3 考えながら学ぶ参加型授業

TA受賞者と講義科目全体を比較

授業内容の工夫と進め方が違う



授業を通じて得られた満足度が違う

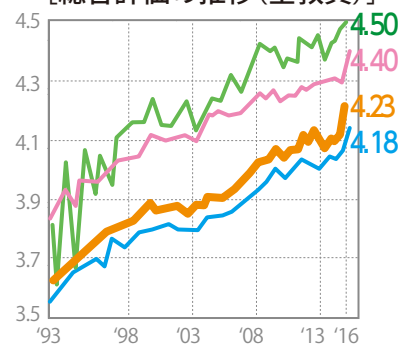


「4つの力」を意識できている

今年も増えた「いい授業」!

総合評価 **4.23** (5点満点中)
 2016年度秋学期の平均

[総合評価の推移(全教員)]





授業についてのシンポジウム!

～みんなで創る理想の学び～

|| 「教職員・学生協同シンポジウム」

結論!

いい授業は二人三脚で作る!

教育支援センターでは「良い授業」を具体化するにあたり、学生・教員の双方に対して「授業に関するアンケート」を実施。そして、アンケート結果を活用して授業を良くしていくための検討を行うため、「学生FDワーキンググループ」と「教員FDワーキンググループ」を立ち上げ、アンケートのデータ分析、各学部の傾向と特徴の把握等を幅広く話し合いました。今回のシンポジウムは、その結果発表と意見交換を広く学内の教職員及び学生にも知ってほしいという趣旨で2016年12月に開催。総勢164名の教職員及び学生が参加しました。



教育支援センター・芳川先生が開会のあいさつ

まずは教育支援センター所長である文学部心理・社会学科教授の芳川玲子先生から、開会宣言がなされました。芳川先生は、現代日本における「大学の役割」について、文部科学省の方針などを引用して説明しました。そのなかでとくに、「学力(どのような時代や社会でも対応できる能力)」を学生が修得することの必要性を話しました。



芳川玲子先生

学生の皆さんが学力を身につけるには、教員自身が変えていくと同時に、皆さんも良い授業とは何かを考えるきっかけが必要です。そのために、学生の視点から授業改善活動に参加してほしいと考えています。これが他大学でも広く行われている「学生FD」です。

このシンポジウムは、教員と学生の授業についての意識を互いに認識したうえで、教員と学生がともに望む授業について考え、双方の考え方の異同を共有する良い機会となりました。学ぶ主体者である学生たちを含めた授業改善はとても大切であり、今後も継続して行っていきたいと思っています。

教員ワーキンググループはこう考えた

課程資格教育センター図書館学研究室准教授の竹之内慎先生と、工学部電気電子工学科講師の稲森真美子先生、現代教養センター教授の成川忠之先生が発表。まず竹之内先生は、「学ぶのは意味ある生き方をするため」と大学で学ぶだけではなく、その延長線上にある学びについて話しました。次の稲森先生のテーマは、理系における双方向授業について。学生同士が課題の解決を探ったり、発表することで、自分に足りない知識や能力を認識する事につながると話してくれました。

最後は成川先生。自らが教育支援課に協力してもらい授業改善に努めた結果、学生の理解度が向上したという体験を話しました。

大切なのは最終学歴ではなく最新学習歴。一時期の学力の差が、最終的に意味ある生き方のための切り札になるわけではありません。学び続ける人は日々成長していくことを学生の皆さんに伝えたいです。



竹之内先生

大人数講義ではみんなが知っているゲームキャラクターなどを入り口にして好奇心を持たせる工夫をしています。一方の少人数講義では、正解が無い課題に時間をかけて取り組むようにしています。



稲森先生

一般教養は知識をつけてもらう授業なので、教員側としては講義を一生懸命やるしかない、という認識を持っていましたが、グループディスカッションを採り入れたところ、効果は絶大でした。



成川先生

学生ワーキンググループからの提言

続いて学生の代表3名から、事前に学生FDワーキンググループで話し合われた内容をまとめた発表が行われました。まず登壇したのは教養学部国際学科3年の辻幸佑さん。「受けたいと思う授業・学習効果が上がると思われる授業」についての学生・教員両者の結果を比較し、共通点や相違点について考察。次に話をしたのは、法学部法律学科4年の平尾幸秀さん。自分がとくに「良い授業」を行うと思う先生の授業について、どの点が学生に受けたいと思わせるのか、体験談をリアルに伝えます。3人目は文学部心理・社会学科3年の吉田和正さん。平尾さんの体験談を受けて、そこから導き出した「良い授業」の4つのエッセンスについて説明しました。



辻さん

参加型の授業や双方向授業、知的好奇心を持たせる授業などが、学生・教員のどちらもが良い授業に挙げた共通項目でした。このような共通点が増えれば全体のモチベーションも上がっていくと思います。



平尾さん

授業の入り方が上手い先生は、ひとこと目で惹きつけられてしまいます。また、授業中に学生との距離感の取り方が上手なのもポイントだと思います。



吉田さん

1.学生の心をつかむためのコミュニケーション。2.学生の意見や考えに対するレスポンス。3.授業をきっかけに新しい価値観や考えを与える。4.板書するときと話すときのメリハリがついている。これが私たちの考えた良い授業の特徴です。

終わりに…学長からの意見は

その後のディスカッションで出たのが、東海大学の創立者である松前重義氏の精神。「生きた言葉」によるコミュニケーションを基本とした東海大学ならではの授業をすることが大事なのでは? という意見です。同じことは、山田清志学長のメッセージにもあらわれていました。



学生と先生が同じテーブルを囲んで色々なことを語り合う場としてはじまった東海大学は、さまざまなキャンパスに広がり大きくなりました。創立者の松前先生がつくったときの気持ちをどうやって大きなキャンパスで実現していくかは、私自身つねに問うようにしています。学生も先生も、車座になって話すことができるような教育環境をつくってほしいですね。

Point!

テレビ会議システムで7キャンパスと短期大学部、福岡短期大学を結んで行われた今回のシンポジウム。最後に芳川先生は、「ともにつくるということがとても大事なことです。みんなが最初から同じスタート地点にいるわけではないです。見方や考え方の違いがあるのが当たり前だと思います。今回だけで結論が出るわけではなく、次に考えるステップとしたいと考えています」と話しました。次回のシンポジウム開催にご期待ください。



授業アンケートから
学生の選んだ「いい授業」
 Tokai Univ. Teaching Award Prize Winners List 2017

受賞者一覧 (2002～2016年度)

※退職者、名誉教授、掲載辞退者を除いています。

マークの見方 00 優秀賞 (数字は受賞年度、受賞年) *…2007年度以前の「最優秀賞」を示す。(2007年度以前は選考方法が異なり最優秀賞と優秀賞があるため)

文学部	文文学科	井野上 真弓 先生	'15
	アジア文文学科	葉 千栄 先生	'02 '03 '07* '12
	文学部ヨーロッパ文文学科	河島 思朗 先生	'16
	北欧学科		'14
	文芸創作学科	堀 啓子 先生	'07* '15
	英語文化コミュニケーション学科	斎藤 早苗 先生	'03
		川崎 修一 先生	'03 '06
	心理・社会学科	浅井 千秋 先生	'07
		有沢 孝治 先生	'06 '08
	政治経済学部	経営学科	岩谷 昌樹 先生
教養学部	芸術学科音楽学課程	梶井 龍太郎 先生	'03 '04
		荒木 圭子 先生	'15
	国際学科	小山 晶子 先生	'16
		小貫 大輔 先生	'07 '10
体育学部	体育学科	今村 修 先生	'03* '05
	競技スポーツ学科	高妻 容一 先生	'02*
	武道学科	天野 聡 先生	'12
理学部	数学科	小川 竜 先生	'16
		古谷 康雄 先生	'06
	情報数理学科	土屋 守正 先生	'07
	物理学科	遠藤 雅守 先生	'05
		江川 浩 先生	'03 '04
	化学科	関根 嘉香 先生	'03 '04 '08
基礎教育研究室	及川 義道 先生	'02	
情報理工学部	情報科学科	内田 理 先生	'05
	コンピュータ応用工学科	浅川 毅 先生	'02 '07
工学部	応用化学科	長瀬 裕 先生	'05
	電気電子工学科	大山 龍一郎 先生	'06
	機械工学科	神崎 昌郎 先生	'04
	航空宇宙学科航空操縦学専攻	新井 直樹 先生	'13
観光学部	観光学科	立原 繁 先生	'10
情報通信学部	情報メディア学科	濱本 和彦 先生	'02

情報通信学部	経営システム工学科	西口 宏美 先生	'07* '15
		森山 弘海 先生	'03 '04
海洋学部	水産学科食品科学専攻	齋藤 俊郎 先生	'05
	海洋生物学科	村山 司 先生	'04 '07* '15
	海洋フロンティア教育センター	岡田 夕佳 先生	'15
健康科学部	看護学科	石井 美里 先生	'07
	社会福祉学科	阿部 正昭 先生	'13
		小林 理 先生	'14
農学部	応用植物科学科	松田 靖 先生	'06
	応用動物科学科	仁木 隆博 先生	'08
国際文化学部	地域創造学科	広川 龍太郎 先生	'07* '15
		山田 秀樹 先生	'15
	国際コミュニケーション学科	張 雷 先生	'07
		ハミルトンマーク 先生	'07
		中尾 紀行 先生	'07
デザイン文化学科	田川 正毅 先生	'07* '15	
生物学部	生物学科	笠原 宏一 先生	'07
現代教養センター		吉田 厚子 先生	'02* '05 '09 '12
国際教育センター	英語教育部門	シロズブリーマークリチャード 先生	'11
		中川 浩 先生	'13
		マドレー ジョン 先生	'16
	国際言語教育部門	安 小鉄 先生	'06
	佐藤 浩一 先生	'10	
	中島 仁 先生	'14	
情報教育センター		永野 光浩 先生	'14
課程資格教育センター	教育学研究室	朝倉 徹 先生	'04* '05 '11
		稲垣 智則 先生	'16
	博物館学研究室	鈴木 正行 先生	'13
		篠原 聡 先生	'12
清水教養教育センター		栗原 ゆか 先生	'08
阿蘇教養教育センター		マイナー ダニエル W. 先生	'15
札幌教養教育センター		和泉 光則 先生	'14



東海大学の 学習支援

あなたの勉強をサポートします!

東海大学では、学生のみなさん一人ひとりの学習をさまざまな形で支援しています。e-ラーニングのできる「TICU」をはじめ、外国語と理工系科目に特化した「L-Navi」「S-Navi」では、担当の先生や先輩が個別に指導してくれます。苦手分野の克服や、好きな分野の追求など、利用方法はさまざまです。まずはお気軽に学習支援室を訪ねてみてください。

自分のペースで
自由に勉強したい人は



“TICU”

サイバーキャンパス (ネット学習)

“TICU” ホームページ
<http://www.cyber.u-tokai.ac.jp/>

TICUは、ネット上に存在する学びの場です。東海大の学生なら、いつでも、どこからでもTICUで学ぶことができます。内容は、政治経済、数学、物理、化学、生物、英語、IT、自然科学の基礎、言葉の世界などさまざま。焦らず、少しずつでも続けていけば、1年後には差が付いています。



担当者より

始めるきっかけはさまざま。例えば、高校では学んでいないが学んでみたい科目がある。国語という教科ではなく日本語の美しい表現を学んでみたい。就活前に基本的な内容をおさらいしたい…。単位のためではない、自分のための学びがあります。

教育支援センター教育支援課 横田 卓さん

英語だけでなく、他の外国語も含めて
苦手克服やさらに向上を目指す人は



“L-Navi”

多言語の学習支援室

場所：湘南校舎1号館1階B翼 Global AGORA 内
授業期間・定期試験期間の月曜～金曜 12:00～18:00

L-Navi(言語・学習相談室)では、英語だけでなく、他の外国語の学習や留学生の支援まで幅広いニーズに応えます。国際教育センターの教員や学生サポーターが、授業に限らず、資格試験や留学など、語学に関わるあらゆる質問や相談に応じます。ライブラリーやカフェもありますので、気軽に立ち寄ってください。



担当者より

多言語・多文化のための自由な学習・交流スペースとして Global AGORA が新たに生まれ、従来の E-Navi は L-Navi になりました。教員や学生による語学学習グループの活動や様々なイベントの企画など、言語や文化との出会いの機会を提供していきます。

国際教育センター英語教育部門教授 長沼 君主先生

理科や数学が苦手
個別に対策を立てたい人は



“S-Navi”

数学・理科の学習支援室

場所：湘南校舎 18 号館 1F
授業期間・定期試験期間の月曜～金曜 12:35～18:00

S-Naviでは、理工系基礎教育科目(数学、物理、化学)の学習支援を行っています。先生や先輩が、授業でわからなかったこと、レポートの書き方、勉強の方法などを親切、丁寧にアドバイスしてくれます。理工系の勉強で困ったことがある時は、気軽に S-Naviに相談に来てください。



担当者より

数学や理科の講義でわからないことがあったら、S-Naviで先輩や先生に気軽に質問してください。わからないことがあるのに解決しておかないと、後でとても苦労します。テスト前だけでなく、わからなかったら早めに相談しましょう。

理学部数学科教授 山本 義郎先生

教育支援センターから



所長
芳川 玲子(文学部心理・社会学科)

日本の大学は、かつては「入難出易」と言われ、入りさえすれば就職など人生の先の道は見えていました。しかし、希望者全員が大学に入れる、いわゆる「大学全入時代」になった今、社会はより質の高い学生を求めようになりました。教育支援センターは東海大学生の学習の質を保証するために、さまざまな取り組みをしています。あなたは何を求めて大学に入りましたか？大学の授業に不安を感じていませんか？卒業するまでにどのような力を身につけたいですか？ぜひ自分のニーズに合わせて、学習支援のさまざまなサービスを利用してください。

ホームページには
「いい授業」に関する情報が満載!

- 東海大学Teaching Award
バックナンバー
- FD研究会開催情報
- 講演会・研修会開催情報

最新情報は、ホームページで確認できます。

東海大学教育支援センター 検索

<http://www.esc.u-tokai.ac.jp/>